

# 2015年7月期 第2四半期決算説明会

Company  
Presentation

2015年 3月

**TORIKIZOKU**<sub>∞</sub>

株式会社 鳥貴族  
(証券コード: 3193)

1	会社概要	.....	2
2.	2015年7月期 第2四半期業績	.....	6
3.	中期経営計画	.....	15

# 会社概要

---

**TORIKIZOKU<sub>∞</sub>**



# 会社概要



社名	株式会社 鳥貴族
設立	1986年9月19日
本社	大阪市浪速区立葉1-2-12
代表者	代表取締役社長 大倉 忠司
資本金	550,356,000(2015年1月末現在)
店舗数	店舗数 387店舗 (2015年1月末現在) ●直営 208店舗 ●TCC * <sup>1</sup> 179店舗
従業員数	従業員数 424名 (2014年7月末現在) (外、平均臨時雇用者数 * <sup>2</sup> 1,404名)
営業内容	「鳥貴族」の営業とカムレードチェーン事業
事業所	●大阪本社・タレ製造工場 ●東京事務所 ●名古屋事務所

\*<sup>1</sup> 当社では、一般的なフランチャイズチェーンよりも強固なビジネスパートナーとしての関係性を確保することを目的として、限られた加盟店オーナーを「カムレード」と称しており、TCCは鳥貴族カムレードチェーンの略です。

\*<sup>2</sup> 平均臨時雇用者数は、1日の労働時間を8時間で換算した年間平均の人数です。

# 会社概要



## 【永遠の理念】

### 「鳥貴族のうめぼれ」

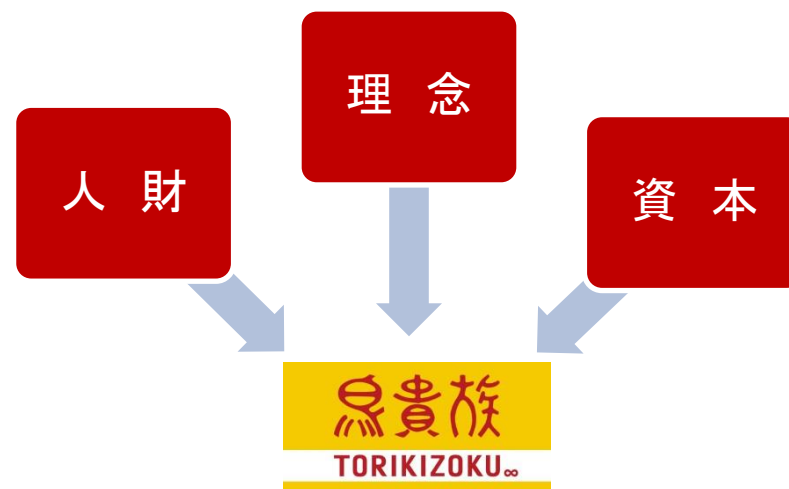
「焼鳥で世の中を明るくしていきたい」という思いを永遠に持ち続けます

## 【経営方針】

### 「鳥貴族」単一業態によるチェーン展開

- 事業集中による理念の共有
- 理念に共感する人財の集中
- 理念に基づいた資本投下

焼鳥へのこだわりを維持しつつ、  
効率的な事業運営を実現



## 【店舗コンセプト】

### 280円均一（税抜）の感動

#### 低価格

トータル料金のわかりやすさ、お得なメニューを探す楽しさ

&

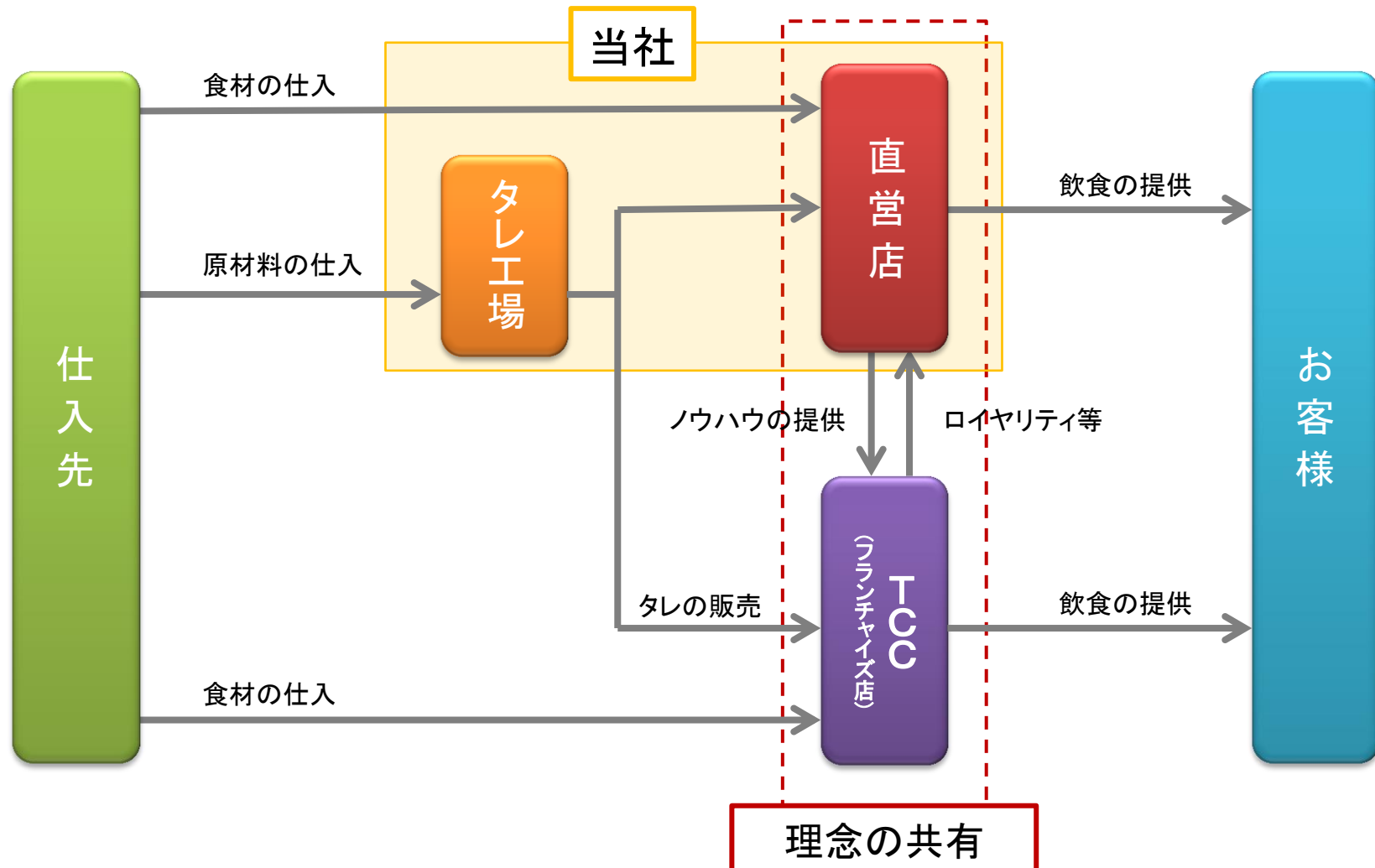
#### 高価値

**商品**: 国産鶏肉使用、店舗で串打ち、手作りのタレ  
**サービス**: 元気でホスピタリティあふれる接客  
**空間**: 木の温もりを感じる非日常空間

# 事業系統図



タレ工場以外、セントラルキッチンを保有せず、各店舗で仕込み ⇒ 手作りの強み



# 2015年7月期第2四半期業績

---

**TORIKIZOKU<sub>∞</sub>**



# 業績概要



## ■売上高(予想比104.6%)

- ✓ 店舗数増加に伴う売上拡大(24店舗純増)及び既存店売上の増加(前期比105.6%)
- ✓ 新店についても都市部において大型店舗の出店があったことが売上高増加に寄与

## ■営業利益率(予想比99.0%)

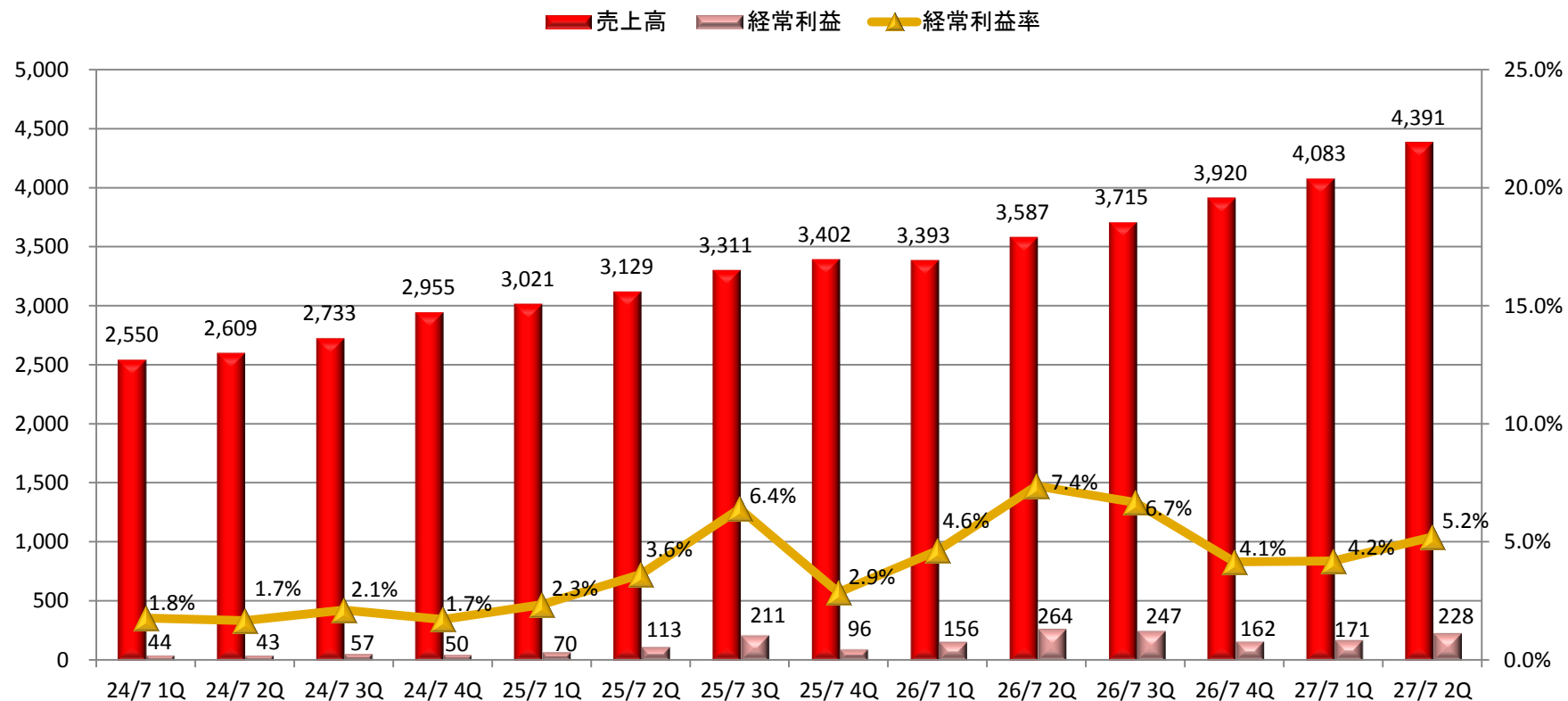
- ✓ 大型店舗の出店に伴い出店に係るイニシャルコストが増加
- ✓ ノロウイルスや異物混入を踏まえた衛生管理強化により人件費が増加
- ✓ 既存店の売上増加に伴い人件費が増加
- ✓ 今後の出店に備えた人財確保により経費が増加

(単位:百万円)

	2014年7月期 2Q累計 実績 (売上比) ※参考値	2015年7月期						通期 予想 (売上比)
		2Q累計 予想 (売上比)	2Q累計 実績 (売上比)	前期比		予想比		
				%	金額	%	金額	
売上高	6,981	8,099	8,475	121.4%	+1,494	104.6%	+375	17,269
営業利益	362 (5.2%)	389 (4.8%)	403 (4.8%)	111.2%	+40	103.6%	+13	974 (5.6%)
経常利益	421 (6.0%)	363 (4.5%)	399 (4.7%)	94.9%	△21	110.1%	+36	900 (5.2%)
当期純利益	239 (3.4%)	188 (2.3%)	187 (2.2%)	78.4%	△51	99.8%	△0	500 (2.9%)



# 四半期業績の推移(参考)



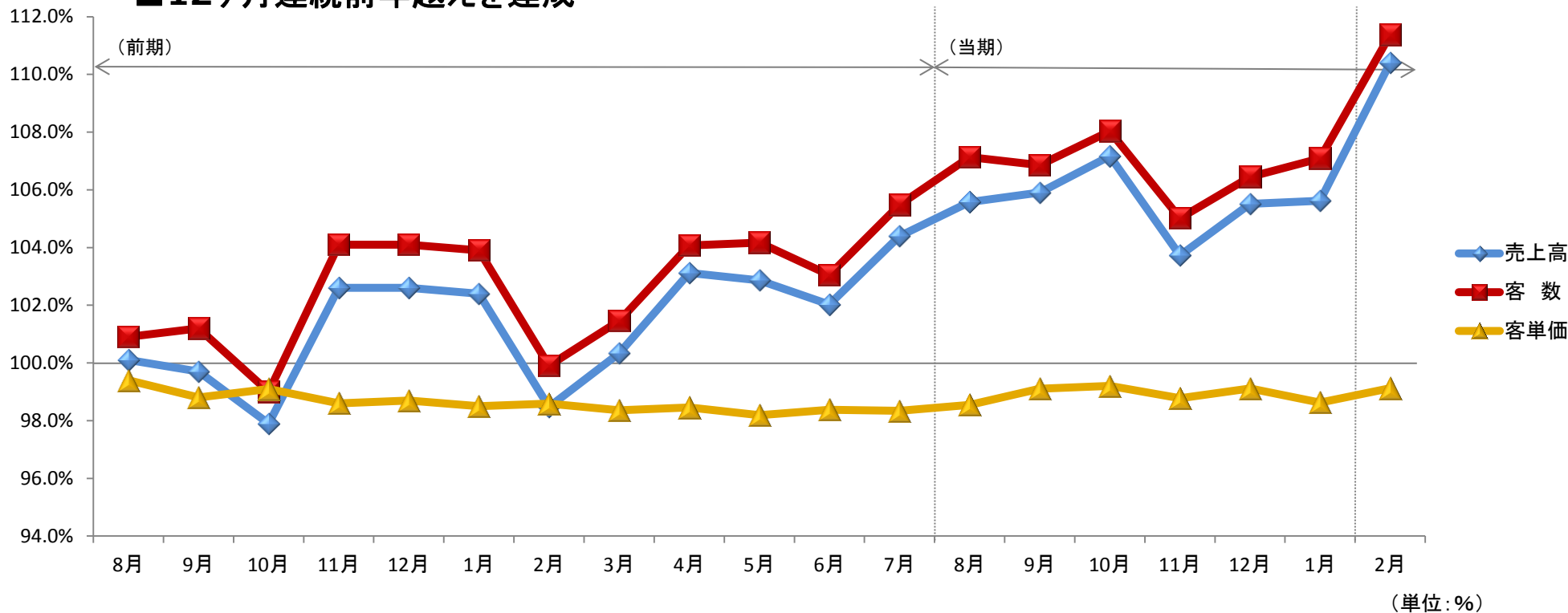
# 既存店売上高前年比推移



■既存店売上 前年比 105.6%

✓客数増加による売上増加

■12ヶ月連続前年越えを達成



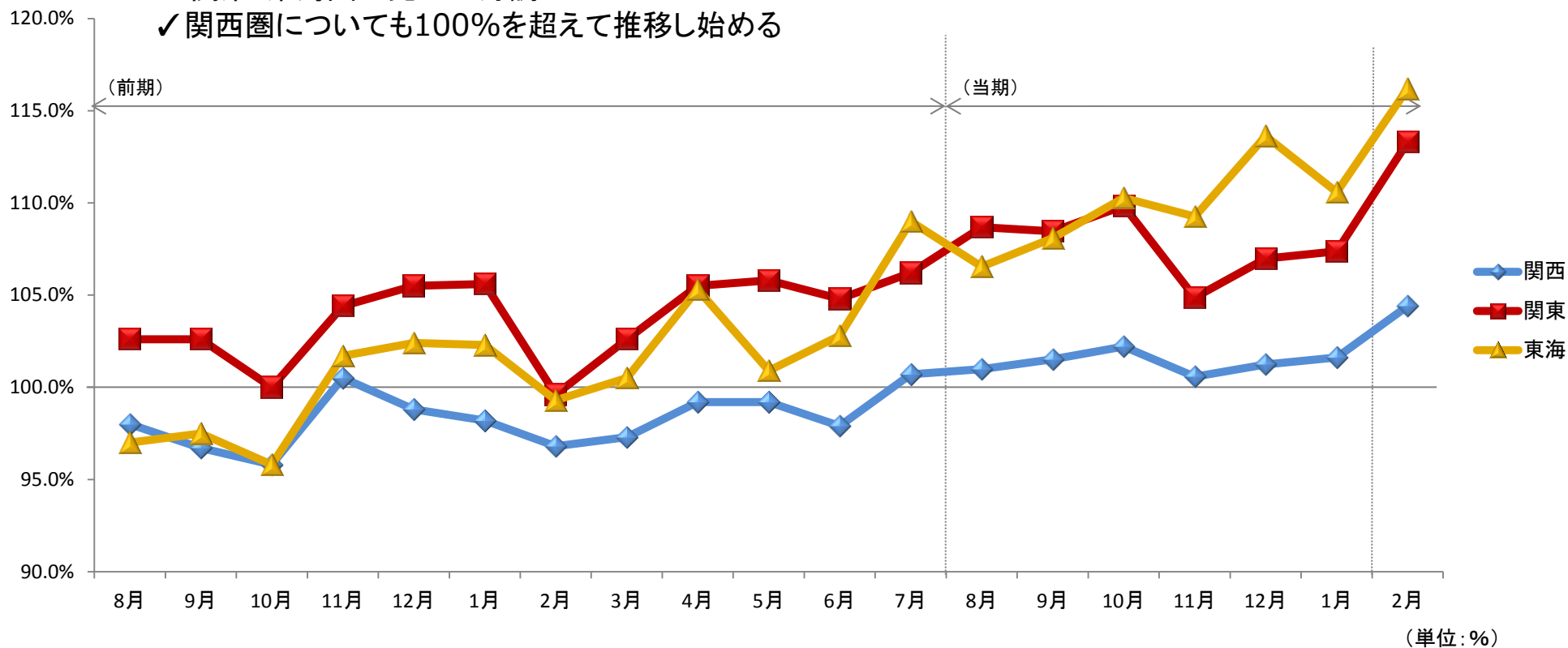
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	上期	2月
売上高	100.1	99.7	97.9	102.6	102.6	102.4	98.5	100.3	103.1	102.9	102.0	104.4	105.6	105.9	107.2	103.7	105.5	105.6	105.6	110.4
客数	100.9	101.2	99.0	104.1	104.1	103.9	99.9	101.5	104.1	104.2	103.0	105.5	107.1	106.9	108.0	105.0	106.4	107.1	106.8	111.4
客単価	99.4	98.8	99.1	98.6	98.7	98.5	98.6	98.4	98.5	98.2	98.4	98.3	98.5	99.1	99.2	98.8	99.1	98.6	98.9	99.1

# 既存店売上高前年比推移(商圈別)



■既存店売上 前年比 105.6%

- ✓ 関東・東海圏の売上が好調
- ✓ 関西圏についても100%を超えて推移し始める



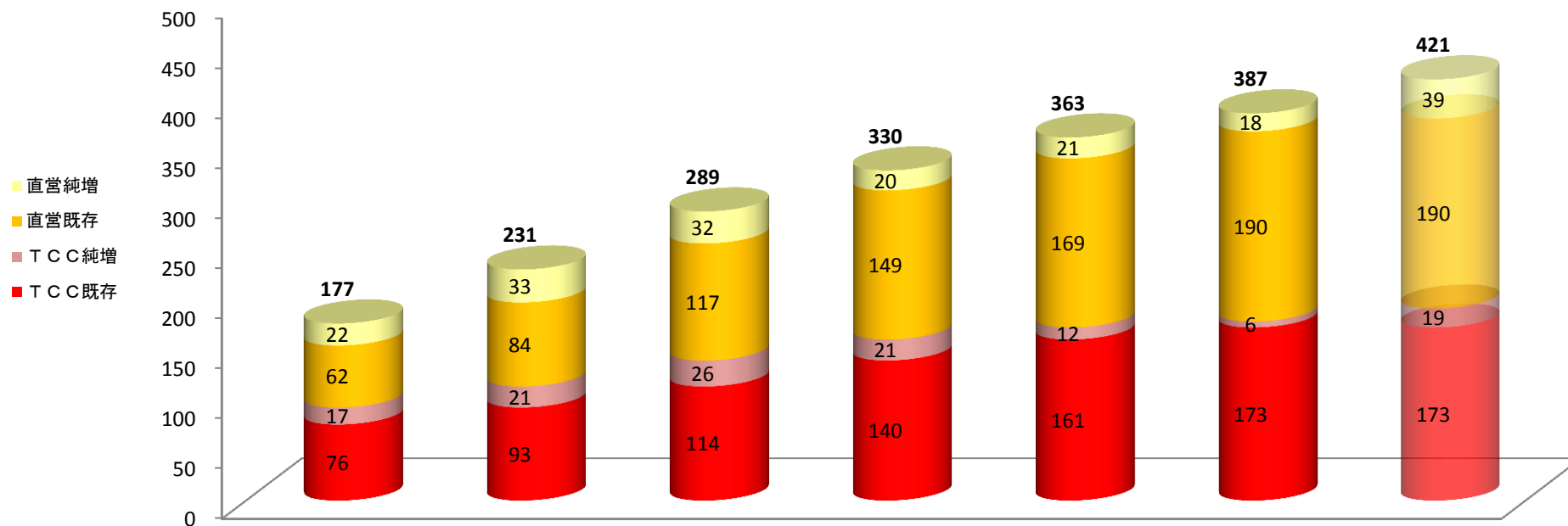
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	上期	2月
関西圏	98.0	96.7	95.8	100.5	98.8	98.2	96.8	97.3	99.2	99.2	97.9	100.7	101.0	101.5	102.2	100.6	101.2	101.6	101.3	104.4
関東圏	102.6	102.6	100.0	104.4	105.5	105.6	99.6	102.6	105.5	105.8	104.8	106.2	108.7	108.5	109.8	104.9	107.0	107.4	107.7	113.3
東海圏	97.0	97.5	95.8	101.7	102.4	102.3	99.3	100.5	105.3	100.9	102.8	109.0	106.5	108.1	110.3	109.3	113.6	110.6	109.8	116.2

# 店舗推移



## ■ 上期25店舗の出店(直営 18店舗 TCC 7店舗)

- ✓ 関東圏での出店を加速(新規出店25店舗中15店舗が関東圏)
- ✓ TCC店の出店が計画に対し遅れ気味ではあるが当社の業績への影響は軽微



		2010年7月期	2011年7月期	2012年7月期	2013年7月期	2014年7月期	2015年7月期 第2四半期	2015年7月期 通期(計画)
合計	期末合計	177	231	289	330	363	387	421
直営	期末店舗数	84	117	149	169	190	208	229
	出店	22	34	34	20	22	18	40
	退店	0	△1	△2	0	△1	0	△1
TCC	期末店舗数	93	114	140	161	173	179	192
	出店	17	22	26	21	15	7	20
	退店	0	△1	0	0	△3	△1	△1

# 通期業績予想



■平成27年3月6日発表の通期業績予想値の変更はありません。  
(見直しが必要な場合は速やかに開示いたします。)

(単位:百万円)

	平成26年7月期		平成27年7月期		
	2Q累計 実績 (売上比)	通期 実績 (売上比)	2Q累計 実績 (売上比)	通期	
				予想 (売上比)	進捗率 %
売上高	6,981	14,616	8,475	17,269	49.1%
営業利益	362 (5.2%)	690 (4.7%)	403 (4.8%)	974 (5.6%)	41.4%
経常利益	421 (6.0%)	831 (5.7%)	399 (4.7%)	900 (5.2%)	44.4%
当期純利益	239 (3.4%)	410 (2.8%)	187 (2.2%)	500 (2.9%)	37.5%

## 下期 取り組み

- ✓ 好調な売上高の維持: 上期と同様に現状のQSC(注)のレベルを落とさず、かつ出店投資を推進  
(注)QSC:クオリティ(商品品質)、サービス(接客力)、クレンリネス(衛生管理)
- ✓ 人件費の適正化: パート・アルバイトのシフトコントロールの徹底

# 株主還元



## ■株主還元基本方針

✓成長戦略への内部留保を優先するが、安定的かつ継続的な配当を実施

## ■配当予定

✓当初予想通り1株あたり10円

	第2四半期末	期末	年間	配当性向
2015年7月期 (株式2分割後修正予想)	10円(注1)	5円(注2)	—	6.6%
2015年7月期 (当初予想)	10円	10円	20円	6.6%
2014年7月期	—	10円	10円	3.2%

修正予想は株式分割に伴うものであり、1株当たり期末配当金の実質的な変更はありません。

(注1) 中間配当は平成27年2月1日付けの分割前の株式が対象となるため、1株あたり10円となります。

(注2) 期末配当は分割後の株式が対象となるため、1株あたり5円となります。

# 株主還元



## ■株主優待制度

- ✓株主の皆様の日頃からのご支援にお応えするとともに、当社の店舗のご利用を通じて、より多くの皆様に当社の事業へのご理解とご支援をいただくことを目的とするもの。
- ✓年に2回、「鳥貴族」全店でご飲食代金としてご利用いただけるお食事ご優待券を贈呈。
- ✓平成27年2月1日付の株式分割に伴い、当期末株主優待を以下のとおり変更しております。

	平成27年1月末時点の株主様 (株式分割前)	平成27年7月末時点の株主様 (株式分割後)
100株以上	3,000円相当のお食事ご優待券	—
100株～199株	—	1,500円相当のお食事ご優待券
200株以上	—	3,000円相当のお食事ご優待券



# 中期経営計画

---

**TORIKIZOKU<sub>∞</sub>**

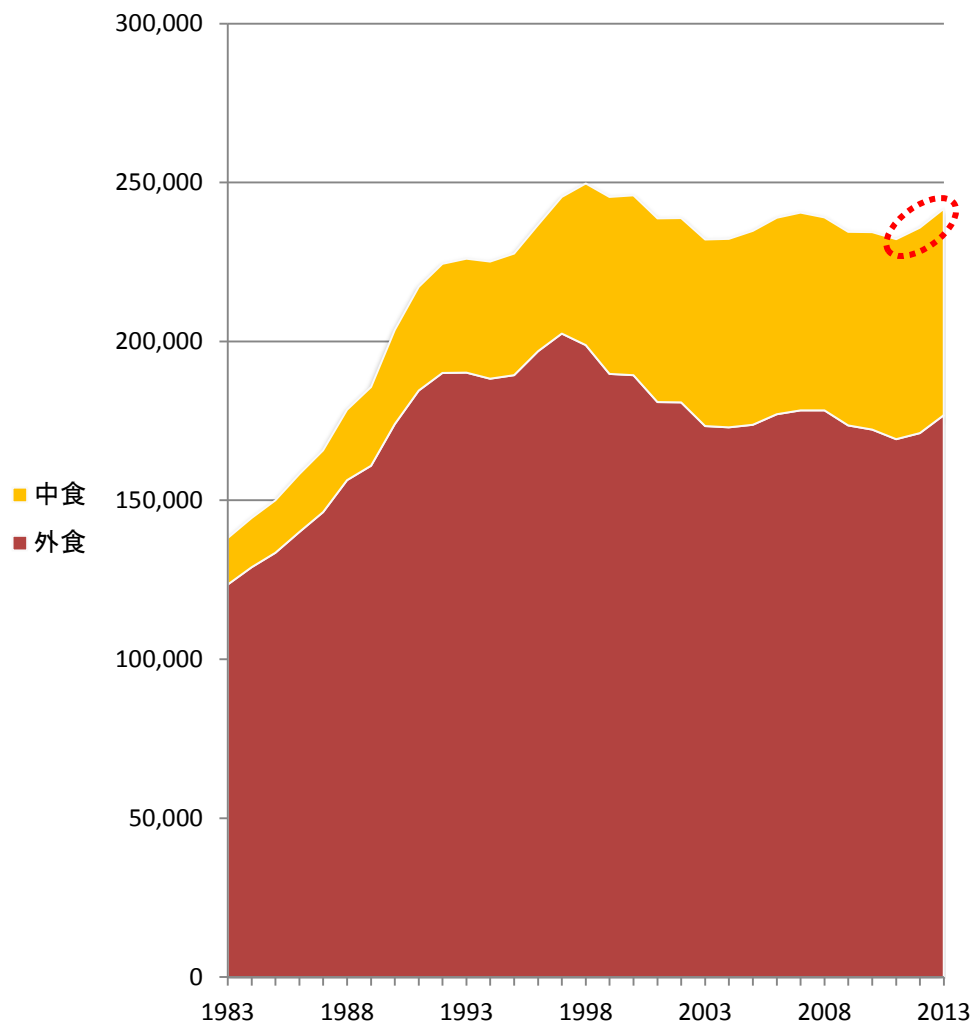




## 外部環境



### 「食の外部化」が拡大傾向に。



[出所]公益財団法人 食の安全・安心財団公表資料より作成

- 外食<sup>(注)</sup>は1997年をピーク(約20兆円)に、2013年には約17.6兆円まで縮小し、中食へのシフトが進む。(注)国内線機内食等、宿泊施設、集団給食を除く
- ただし中食と外食を合わせた「食の外部化」は近年拡大傾向にある。

#### 【中食シフトの背景】

- 手軽かつ手頃な価格
- 食品加工技術の発達によるクオリティ向上
- すぐに手に入る利便性

#### 【当社のビジネスチャンス】

- リーズナブルな価格設定
- 手作り、できたてのおいしさ
- 自宅では味わえない非日常空間

**中食需要の取り込みは可能**

# 成長戦略



## 【経営方針】

「鳥貴族」単一業態によるチェーン展開

- 事業集中による理念の共有
- 理念に共感する人財の集中
- 理念に基づいた資本投下

## 【中期経営目標】

- 3商圈 500店舗 売上高250億円
- 既存店売上 年間101%上昇
- 経常利益率 5%以上維持

## 【重要施策】

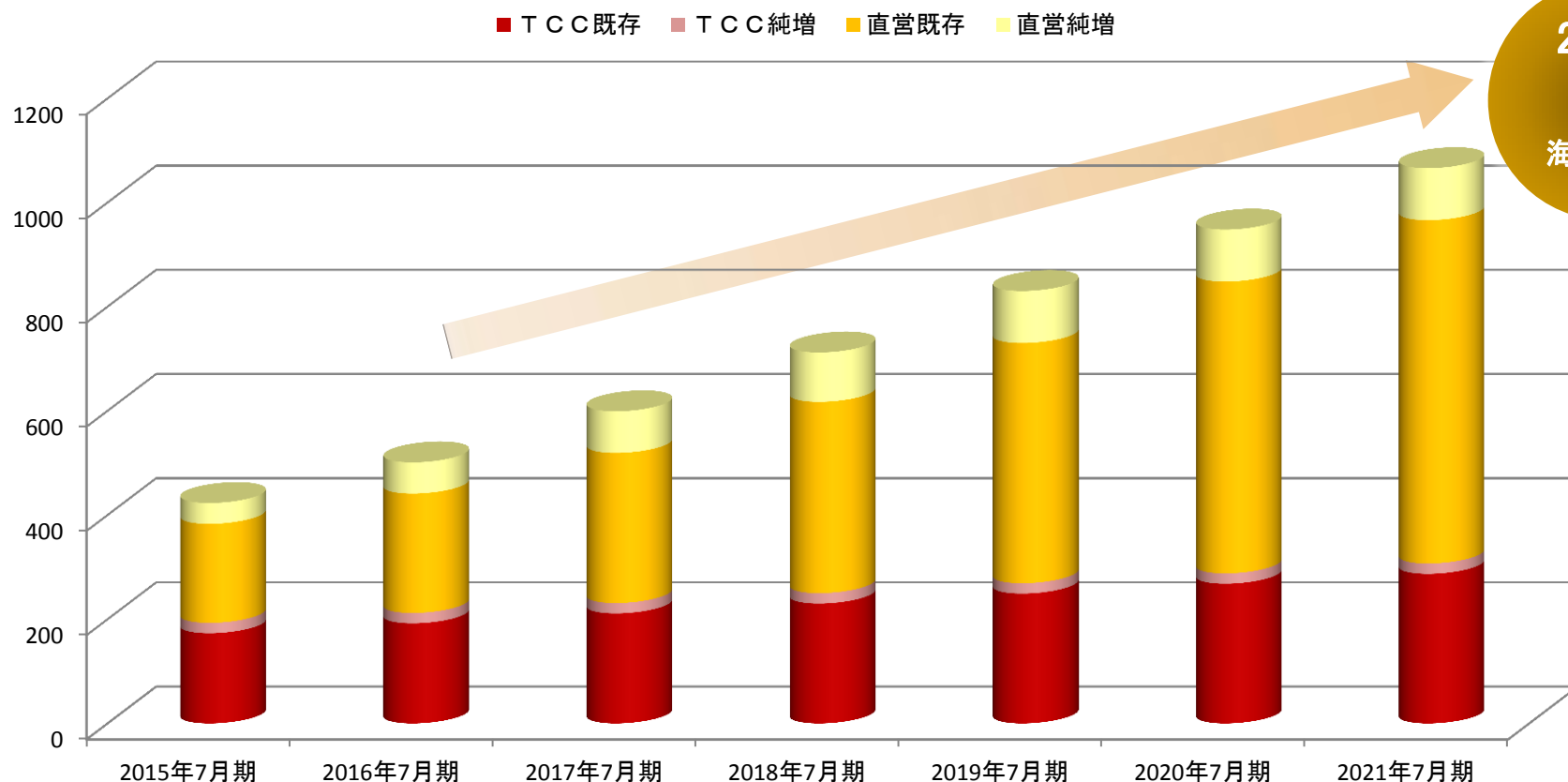
- ✓ 新規出店の強化
- ✓ 国産国消への挑戦
- ✓ ホワイト企業への取り組み

ブランドの向上

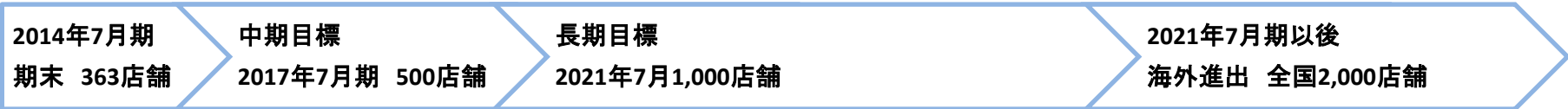
# 重要施策 ① 新規出店の強化



中期目標 3商圈500店舗



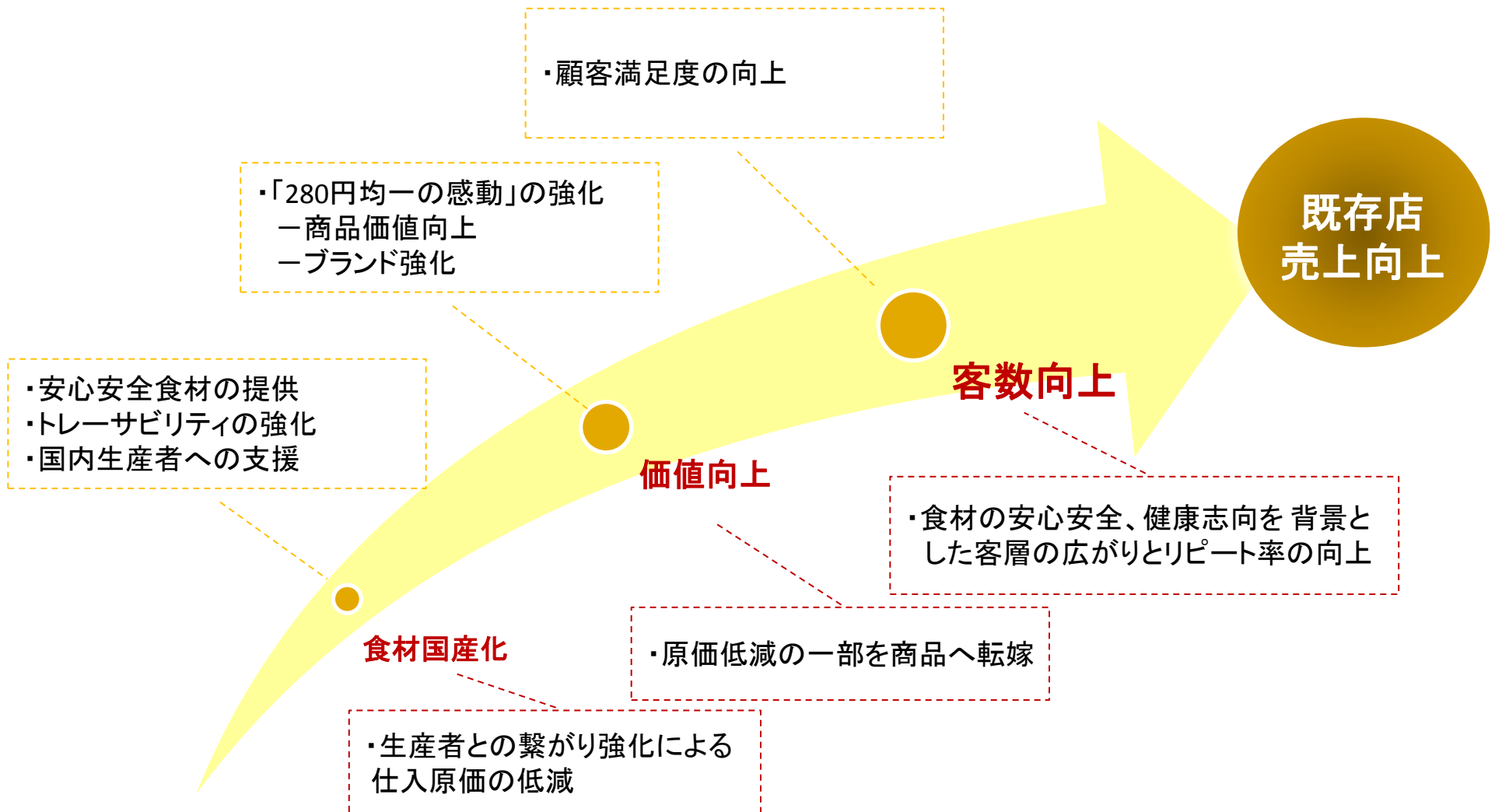
2,000  
店舗  
&  
海外進出



## 重要施策 ② 国産国消への挑戦



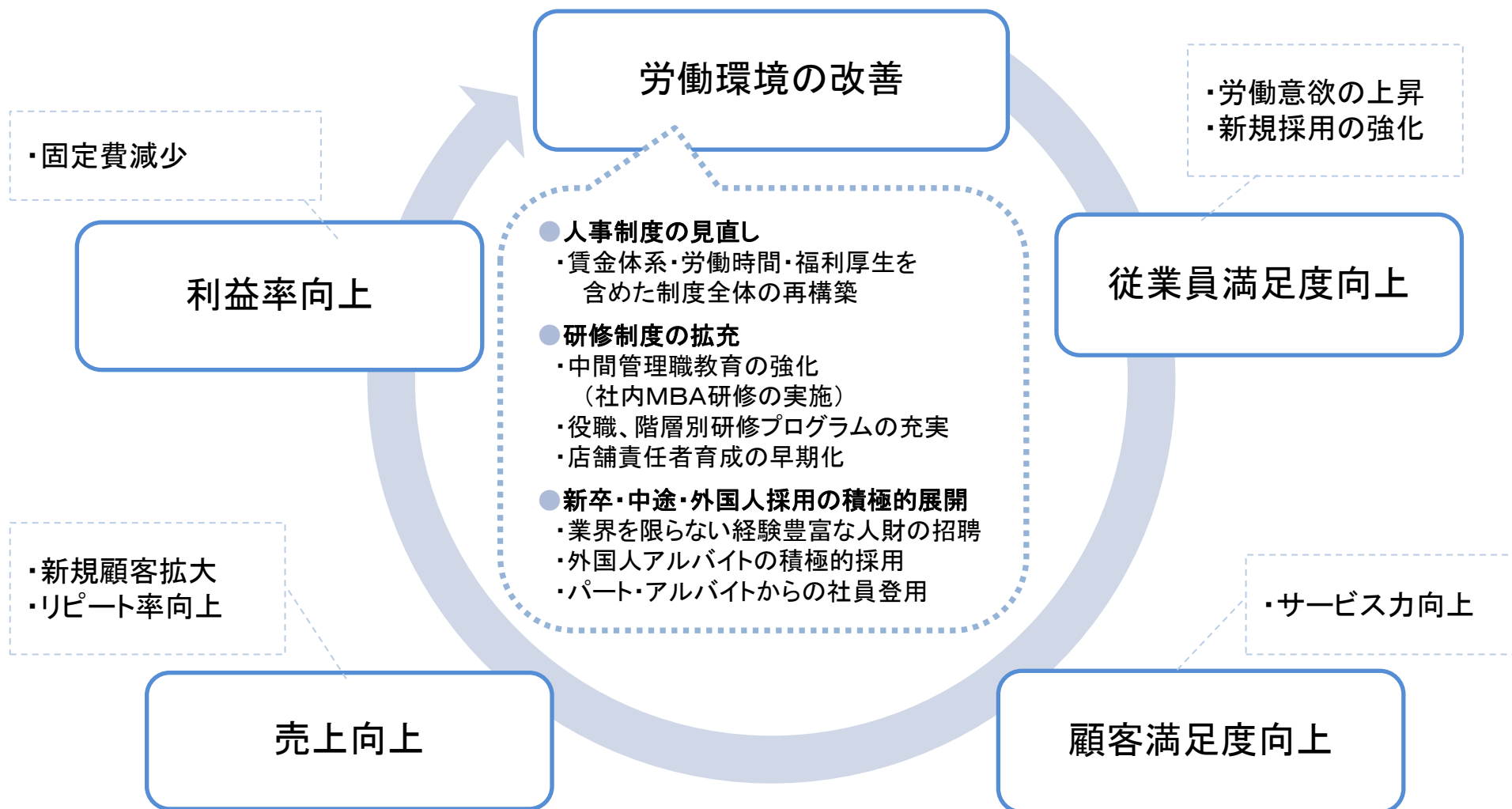
“国産国消への挑戦”＝食材国産比率100%を目指す



# 重要施策 ③ ホワイト企業への取り組み



## 出店加速に対応した人財の育成・確保を図る



# 注意事項



- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社鳥貴族(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものであり、当社株式の購入を勧誘するものではありません。
- 当資料に記載された内容は、2015年1月31日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。
- その他の掲載内容に関しても細心の注意を払っておりますが、不可抗力により情報に誤りを生ずる可能性もありますのでご注意ください。
- 無断での複製又は転用等を行わないようお願いいたします。

お問い合わせ先  
株式会社鳥貴族 管理部IR担当  
TEL 06-6562-5333  
<https://www.torikizoku.co.jp/company/ir/contact/>